

あし お どうざんあと
足尾銅山跡調査報告書 2

2010.3
日光市教育委員会

序

明治以降の日本の近代化、産業化に大きく貢献した足尾銅山は、近世から続く在来の産業技術を継承しつつも、欧米の最新技術を積極的に導入しました。

足尾銅山の閉山から30有余年を過ぎた今も足尾には多くの産業遺産が点在しています。

日光市では、足尾に残された貴重な産業遺産の保存と活用を図るための調査研究を進めています。平成20年7月にはその研究成果として『日光市文化財調査報告第1集』足尾銅山跡調査報告書を刊行いたしました。このたび『日光市文化財調査報告第2集』足尾銅山跡調査報告書2として刊行する運びとなりました。

本報告書では3編の報告を掲載することができました。河東義之先生は、前稿で足尾銅山の最盛期を語る遺構として、古河掛水倶楽部と掛水役宅を取り上げましたが、同役宅が今年2月に「旧古河鋳業会社足尾銅山掛水重役役宅」として栃木県の有形文化財指定を受けたことから、その調査過程において古河機械金属株式会社から提供を受けた史料などにより、新たな歴史的価値を論じています。青木達也先生、永井護先生は、足尾銅山の景観から見た産業遺産の包括的な保全・活用を研究されていますが、今回、松木地区の山林荒廃と自然の回復を砂防・治山事業の歴史的観点から報告されました。同報告は、宇都宮大学特定重点推進研究として調査・研究がなされ学内でも報告されています。最後に小風秀雅先生は、前稿で足尾銅山に対する第三回鉍毒予防工事命令について再検討を論じましたが、今回、第四回・五回予防工事命令に関連して、公文書から第二次鉍毒調査委員会の設置と公害対策の提言を再考されました。本書が産業史研究の一助となれば幸いです。

最後になりましたが、調査報告書刊行に至るまで多大なご協力を賜りました古河機械金属株式会社並びに、ご指導、ご助言いただきました文化庁文化財部記念物課、栃木県教育委員会事務局文化財課をはじめとします関係機関の皆様に深く感謝をいたします。

平成22年3月

日光市教育委員会
教育長 金田 勇

足尾銅山跡調査報告書 2

目 次

掛水役宅の建設と重役役宅	河東義之 ……………	1
足尾銅山松木地区の保存と活用に関する研究	青木達也・永井 護 ……………	17
第二次鉍毒調査委員会の設置と公害対策の提言	小風秀雅 ……………	31

本報告書の編集は、日光市教育委員会事務局生涯学習課 小堀潤二・鈴木泰浩・高橋敏明・宮本史夫が担当した。

なお、作成にあたり次の諸氏、諸機関にご指導、ご協力を賜った。記して謝意を表したい。

(順不同・敬称略)

佐藤正知・幸崎雅弥・池部清彦・山崎義宏・山岡英之

古河機械金属株式会社・古河機械金属株式会社足尾事業所

文化庁文化財部記念物課・栃木県教育委員会事務局文化財課